

# 1

## 安全上のご注意

この注意事項は、お客様に製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。



### 警告

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意


この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される内容を示しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



記号は、

**警告・注意**を促す内容があることをお知らせするものです。  
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は高温注意)が描かれています。

(例)  一般的な注意



記号は、

**禁止の行為**であることを告げるものです。  
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

(例)  一般的な使用禁止



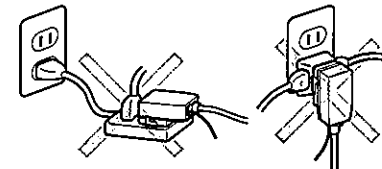
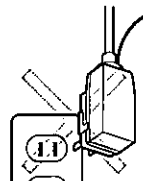
記号は、

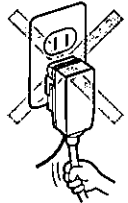
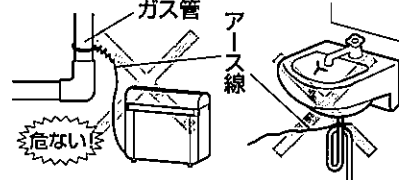

**行為を強制したり指示したりする内容**を告げるものです。  
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜いてください)が描かれています。

(例)  一般的な指示  必ずアースを接続せよ

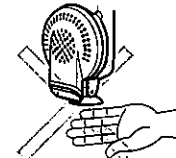

お読みになったあとは、お使いになる方が、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# 警告

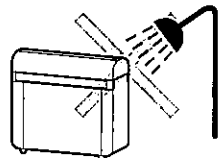
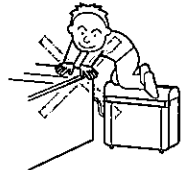
感電・火災の恐れあり	
⊘	<p>●お客様ご自身での工事はしない。 本体設置および移設についてはお買い求めの販売店またはお客様サービスセンター(P.36参照)に依頼してください。</p>
	<p>●電源コンセントは浴室内および屋外コンセントを使用しない。</p>
	<p>●工事後のお客様ご自身による変更工事はしない。</p>
	<p>●電源コンセントは、他の器具と併用しない。 定格15A以上の電源コンセントに単独で直接、接続してください。延長コードや三つ又コンセントなどは使用しないでください。</p> 
	<p>●漏電保護プラグは、コードを上向きにして電源コンセントに差し込まない。 漏電保護プラグは、コードを下向きにして、確実に電源コンセントに差し込んでください。</p> 
	<p>●差し込みのゆるい電源コンセントは使用しない。</p>
	<p>●漏電保護プラグや電源コンセントに、湿気やほこりを近づけない。 ときどき、漏電保護プラグや電源コンセントを乾いた布で拭いてください。</p>
	<p>●本体に異常が発見された場合は使用しない。 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて販売店またはお客様サービスセンター(P.36参照)へご連絡ください。</p>
	<p>●濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。</p>

感電・火災の恐れあり	
⊘	<p>●漏電保護プラグは電源コードを持って引き抜かない。</p> 
	<p>●水道管、ガス管等にアース線を接続しない。 ご使用前にアース線の接続を確認してください。</p> 
	<p>●本体を浴槽中に落としたときは、浴水にさわらない。 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてから本体を引き上げ、販売店またはお客様サービスセンター(P.36参照)にご相談ください。落とした本体は絶対に使用しないでください。</p>
	<p>●操作パネルを浴水に落とさない。 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて、販売店またはお客様サービスセンター(P.36参照)にご相談ください。</p>
	<p>●本体を分解・改造・修理しない。</p>
	<p>●アース線が取り付けられていない場合は、使用しない。 コンセントのアース端子への接続、またはD種接地工事が必要です。D種接地工事は、必ず電気工事店に依頼してください。</p> 

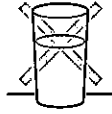
# 警告

ケガなどの恐れあり	
⊘	<p>●風呂ふたの上を手をついたり、乗ったりしない。 とくに、小さなお子様は、浴槽に落ちる恐れがあります。</p>
	<p>●泡出しユニットの吸込口に手や足・髪の毛を近づけない。 吸い込まれる恐れがあります。</p> 
	<p>●泡出しユニットのフィルターセットがゆるんだ状態や外れた状態及びトップフィルターを外したまま運転しない。</p>
	<p>●浴水に潜らない。 髪の毛が吸い込まれ、溺れる恐れがあります。</p>
	<p>●小さなお子様だけでの入浴はさせない。</p>
	<p>●湯かげんを確認せずに入浴しない。 ヤケドの恐れがあります。</p> 

# 注意


感電・火災の恐れあり	
⊘	<p>●浴水を確認しないで追い焚きしない。 浴水が満たされていることを確認してください。</p>
	<p>●2日以上留守にする場合は、本体を運転しない。 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。</p>
	<p>●雷が鳴っている場合は、運転しない。 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。雷通過後は、運転方法(P.12参照)に従い運転を再開してください。</p>
	<p>●長期間、本体を停止させたままで湿気が多い場所(浴室等)に放置しない。</p>
	<p>●本体に直接、水やお湯をかけない。</p> 
	<p>●漏電保護プラグは、浴室や水がかかる場所に設置しない、水をかけない。</p>
<p>●操作パネルに直接、水やお湯をかけない。</p>	
ケガなどの恐れあり	
⊘	<p>●本体の上に乗ったり、モノを置いたり、押したり引っ張ったりしない。</p> 

# ⚠ 注意

ケガなどの恐れあり	
⊘	<p>● 浴水を飲まない。 細菌などで疾病を起こす原因となることがあります。</p> 
	<p>● 皮膚に異常(湿疹・かゆみなど)を感じた場合や傷・化膿症のある方、その他疾患がある方は使用しない。 専門医に相談してください。</p>
	<p>● 紫外線ランプの光を直視しない。</p>

体調をくずす恐れあり	
⊘	<p>● 体調がすぐれないときは、泡出し運転や泡風呂、ジェットバスを使用しない(P.13参照)。 気分が悪くなったり、体調をくずす恐れがあります。医師の治療を受けている方、極度に身体が弱っている方や乳幼児は使用を避けてください。</p>
	<p>● 気泡を目や耳に直接当てたり、噴流を身体と同じ部分に当て続けない。 炎症やかゆみなどを起こす恐れがあります。</p>
	<p>● 浴水をシャワーや打たせ湯などに使用しない。 細菌などで疾病を起こす原因になることがあります。</p>
!	<p>● 入浴前に、かけ湯をしてから入浴する。 身体に付着した土ほこりなどをなるべく浴水中に持ち込まないようにしてください。</p>
	<p>● 「日常のお手入れ」(P.20参照)に従って、正しく手入れを行なう。 故障の原因や細菌が増える恐れがあります。</p>

浴槽・浴室に影響あり	
⊘	<p>● 浴槽の材質を確認せずに、本機を設置しない。 ポリエステル系人工大理石浴槽など一部の浴槽には、浴水を長期にわたり貯めて継続使用すると、浴槽の表面に荒れ・膨れ・変色などが生じる場合があります。</p>
	<p>● 浴槽の金属部にステンレス製の部品以外を使わない。 浴槽に使われている排水口やチェーンなどの金属部は水質によりメッキがはがれてサビることがあります。</p>
	<p>● 浴室内に湿気を溜めない。 カビの原因になりますので換気をしっかりと行ってください。</p>

⊘	<p>● 浴水は、熱帯魚や金魚等の飼育用の水として使用しない。 環境が変わり死ぬ場合があります。</p> 
	<p>● 本機は一般家庭用以外では使用しない。</p>

## ◆ 快適にお使いいただくために

◆ 身体を洗った後のかけ湯には、浴水を使ってください。  
浴水が減った分、足し湯を行なうことにより、お湯の交換を促すことになります。

◆ 本体は、シンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

◆ 水道水を使用してください。  
井戸水や温泉水などを使用すると故障の原因になります。

◆ 砂、小石、水面に浮いた髪の毛などはろ過できませんので取り除いてください。

◆ 入浴剤、石鹸、シャンプー、ゆず、薬草などを浴槽に入れないでください。  
本体や浄化に悪影響を及ぼします。誤って入れた場合は、浴水を入れ替えてください。(P.30参照)

◆ お湯の沸かし過ぎにご注意ください。  
泡出しユニットが変形したり本機の故障の原因になります。



## 2 目次

### 1 安全上のご注意 1

- ◆快適にお使いいただくために .....5

### 2 目次 6

### 3 各部の名称 8

- ◆本体 .....8
- ◆泡出しユニット .....9
- ◆付属品 .....9
- ◆操作パネル表示 .....10

### 4 使い方 12

- ◆運転および停止方法 .....12
- ◆温度調節のしかた .....14
- ◆イオン洗浄について .....15
- ◆本体の熱洗浄について .....17
- ◆ジェット運転のしかた .....18
- ◆保温機能停止について .....18
- ◆浴水の浄化について .....18
- ◆経済的なご使用方法 .....19

### 5 お手入れ 20

- ◆日常のお手入れ .....20
- ◆トップフィルターの洗浄および交換 .....21
- ◆ヌメリの除去 .....22
- ◆ろ材の手洗浄 .....22
- ◆本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄 .....26
- ◆風呂釜の洗浄 .....28
- ◆紫外線ランプの交換 .....28
- ◆漏電保護プラグの点検方法 .....29
- ◆浴槽のお湯を入れ替えるときには .....30
- ◆長期間お使いにならないときは .....30

### 6 異常や故障と思われるとき 31

- ◆浴水が濁ったり、臭いがあるとき .....31
- ◆故障かなと思ったとき .....32
- ◆お手入れ表示と処置方法 .....34
- ◆異常表示と処置方法 .....34

### 7 仕様 35

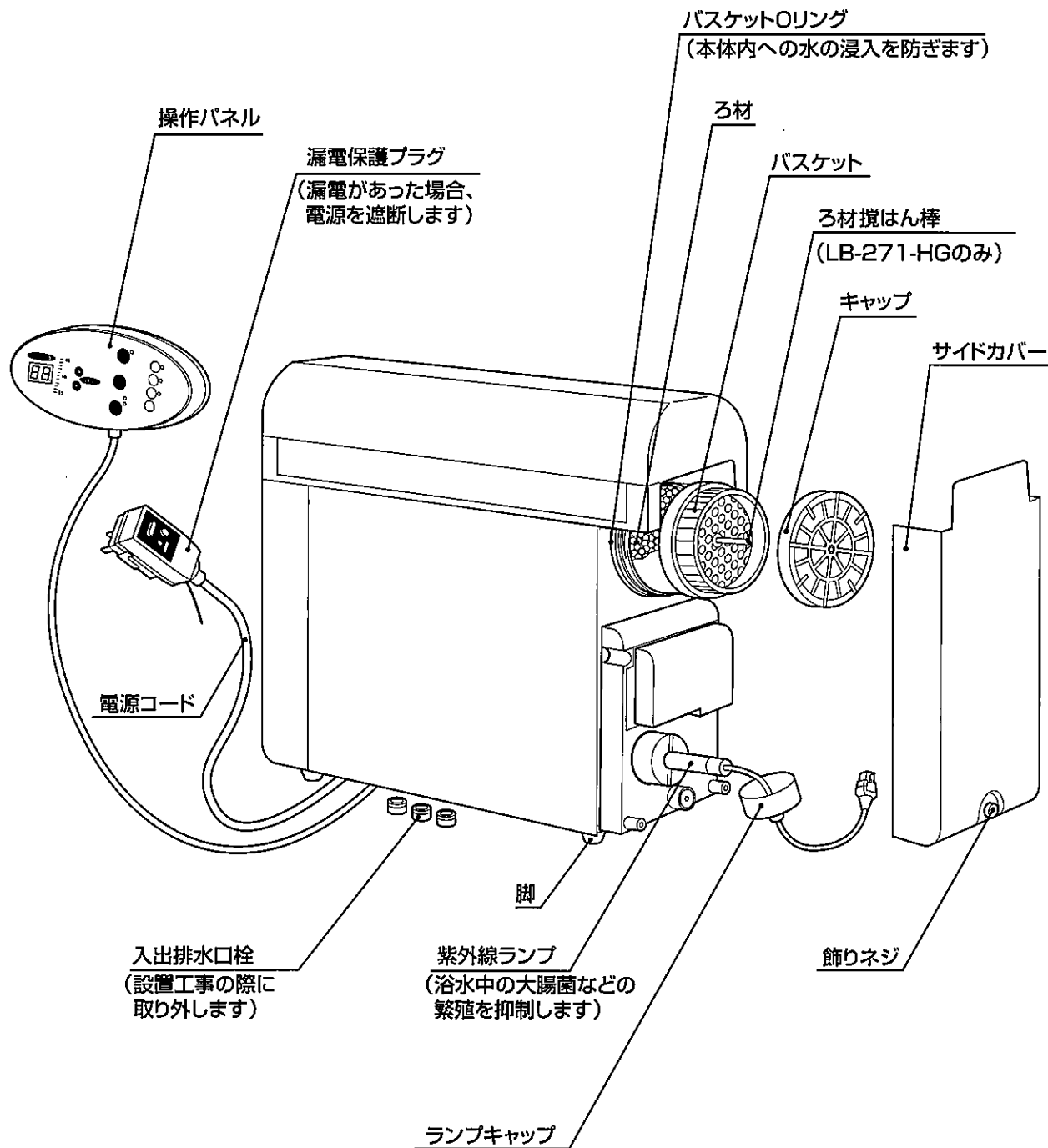
### 8 アフターサービスについて 36

#### 循環温浴システムとは？

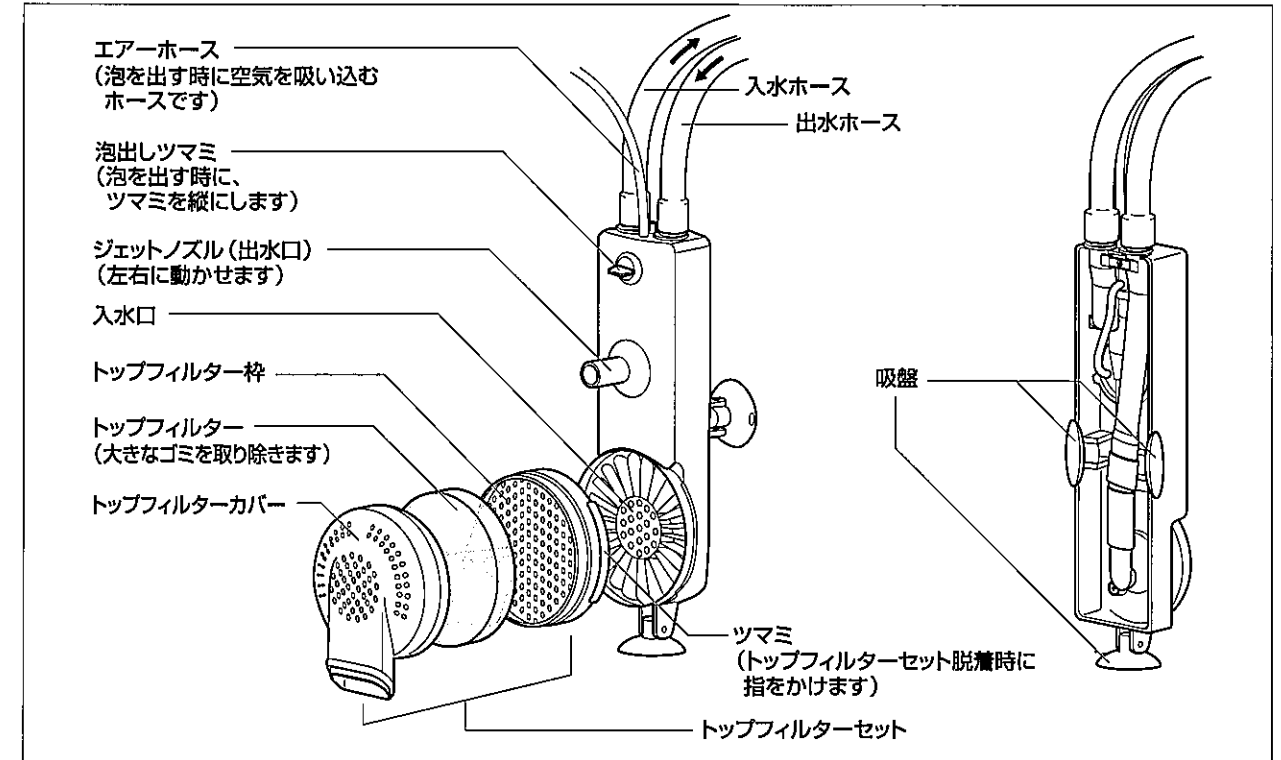
24時間連続して浴水を一定の温度に保ち、浴水を浄化する商品です。  
お風呂の追い炊き釜や給湯装置と違い、浴水が24時間連続して循環しており、お客様の日常におけるお手入れが必要です。

# 3 各部の名称

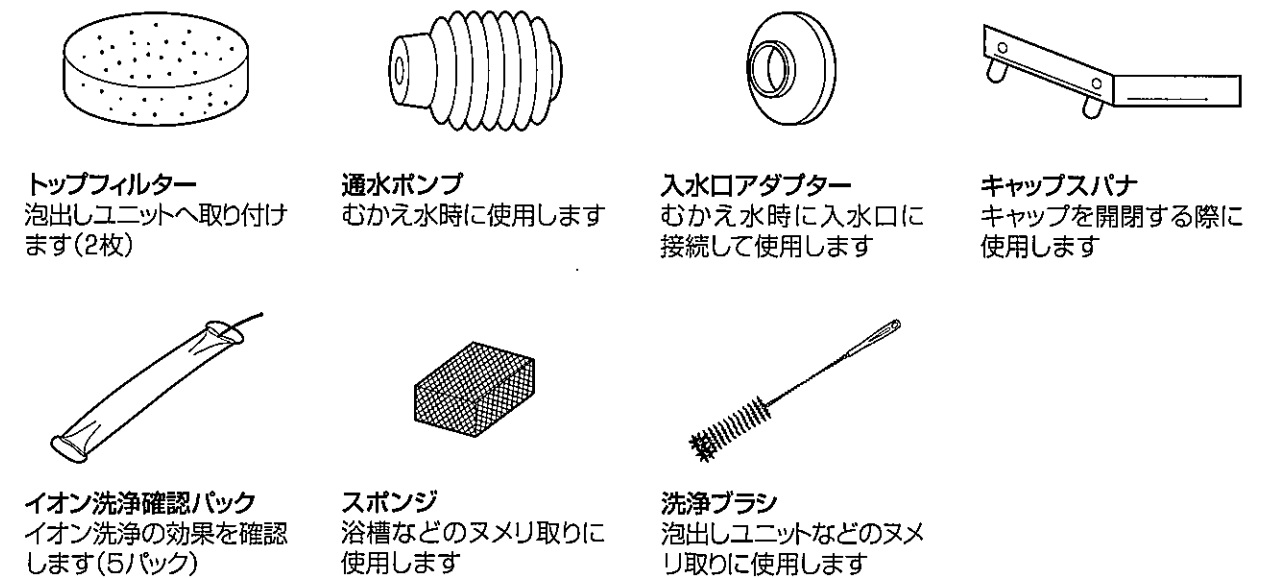
## ◆ 本体



## ◆ 泡出しユニット



## ◆ 付属品 (設置工事の時に使用した部品は除く。設置工事説明書表紙参照)



◆取扱説明書、設置工事説明書

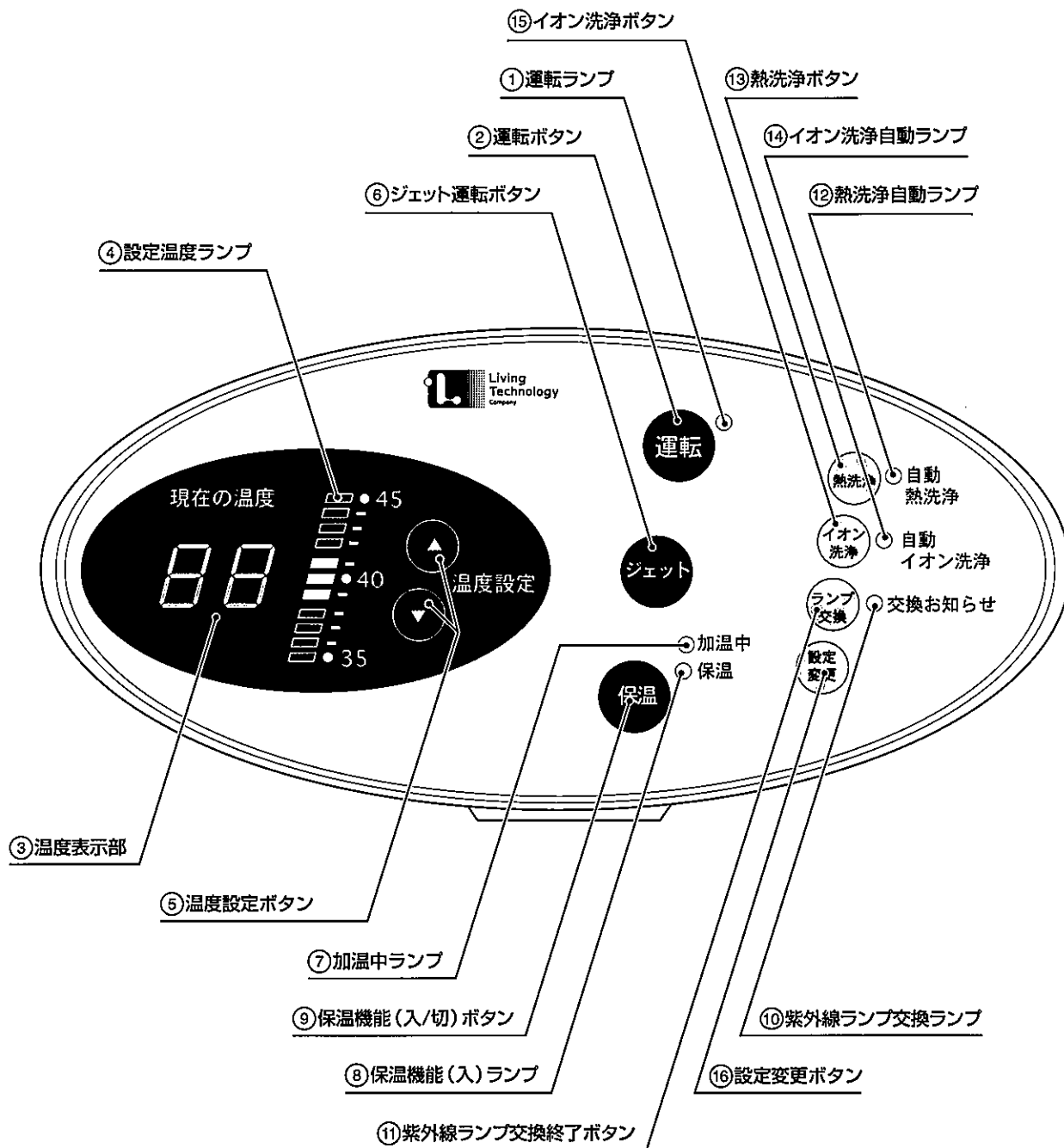
◆ご愛用者ががき

◆保証書

◆お手入れシール

(設置工事時に工事店が本体正面に貼り付けます)

◆ 操作パネル表示



表示部の説明

①	運転ランプ【緑】	本体運転中に点灯します。
②	運転ボタン	運転を入・切します。
③	温度表示部	現在の浴水温度を表示します。 熱洗浄時の「CL」「HI」表示(P.17参照)、イオン洗浄時の「CH」表示(P.15参照)、お手入れ表示および本体の異常を表示します。(P.34参照)
④	設定温度ランプ 35~38℃【緑】 39~41℃【橙】 42~45℃【赤】	浴水の設定温度を表示します。
⑤	温度設定ボタン	浴水の温度を35~45℃の間で設定します。(1℃単位)
⑥	ジェット運転ボタン	通常の水 flow から勢いのあるジェット水流に切り換えます。 (5分経過後に自動停止します)
⑦	加温中ランプ【赤】	加温中に点灯します。
⑧	保温機能(入)ランプ【緑】	保温機能が働いている場合に点灯します。
⑨	保温機能(入/切)ボタン	保温機能の動作/停止を設定します。(P.18参照)
⑩	紫外線ランプ交換ランプ【赤】	紫外線ランプの交換時期になると点滅します。(P.28参照)
⑪	紫外線ランプ交換終了ボタン	紫外線のランプ交換終了後に押します。(P.29参照)
⑫	熱洗浄自動ランプ【橙】	熱洗浄機能が自動設定されている場合に点灯しています。 (設置当初は、熱洗浄機能が設定されているので点灯しています)(P.17参照)
⑬	熱洗浄ボタン	連続して3秒間押した場合、強制的に本体の熱洗浄が開始され、2回目以降の開始時刻が設定されます。(P.17参照)
⑭	イオン洗浄自動ランプ【橙】	イオン洗浄機能が自動設定されている場合に点灯します。 (設置当初は、イオン洗浄機能が設定されているので点灯しています)(P.15参照)
⑮	イオン洗浄ボタン	連続して3秒間押すと、強制的にイオン洗浄が開始され、2回目以降の開始時刻が設定されます。(P.15参照)
⑯	設定変更ボタン	保守、メンテナンス用のボタンです。通常は使用しないでください。

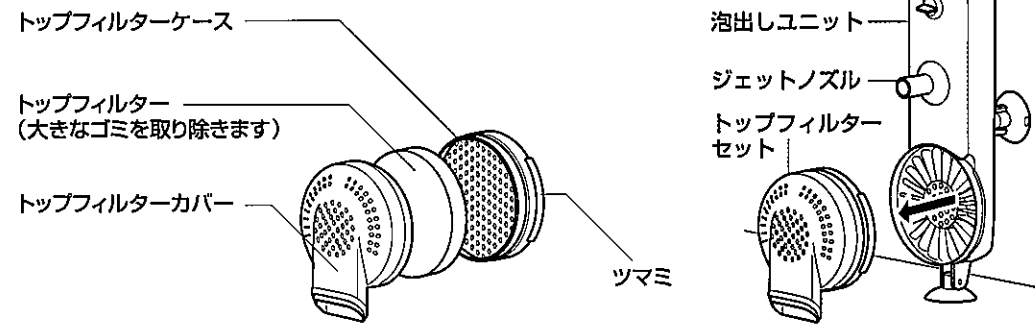
※上記の各ボタンを押すと「ピッ」と音が鳴ります。

# 4 使い方

## ◆ 運転および停止方法

### 運転方法

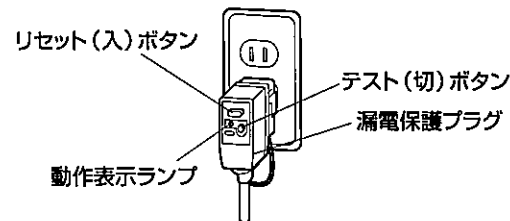
**1** 泡出しユニットのトップフィルターセットを外してください。



**2** 泡出しユニットのジェットノズルの上まで浴槽にお湯を入れてください。

**3** 漏電保護プラグのコードを下向きにして電源コンセントに差し込んでください。

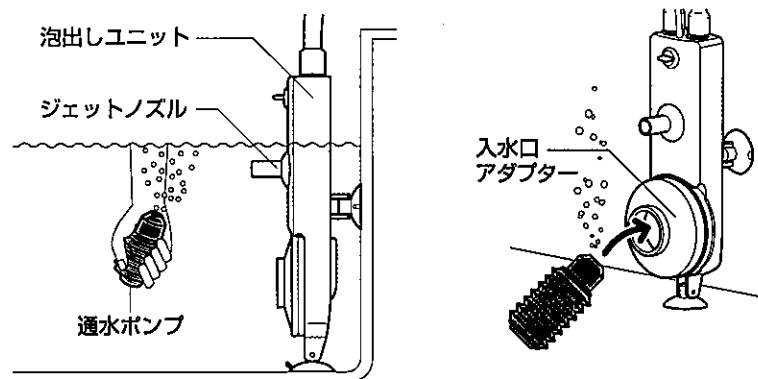
※この時、約40秒間本体の温度表示部に「E3」が点滅表示されます。表示されていない場合は、漏電保護プラグの動作表示ランプを確認してください。動作表示ランプが点灯している場合は、「リセットボタン」を押してください。



### 警告

- ◆コードを上向きにして漏電保護プラグを差し込まない。
- ◆延長コードや三つ又コンセントなどを使用しない。
- ◆差し込みのゆるい電源コンセントは使用しない。火災の原因になります。

**4** 下図のように、入水口アダプターを泡出しユニットの入水口に取り付けて、通水ポンプを浴槽に沈め、中の空気を抜いてから、通水アダプターに差し込んでください。



**5** 操作パネルの「運転ボタン」を押してください。運転が開始されます。

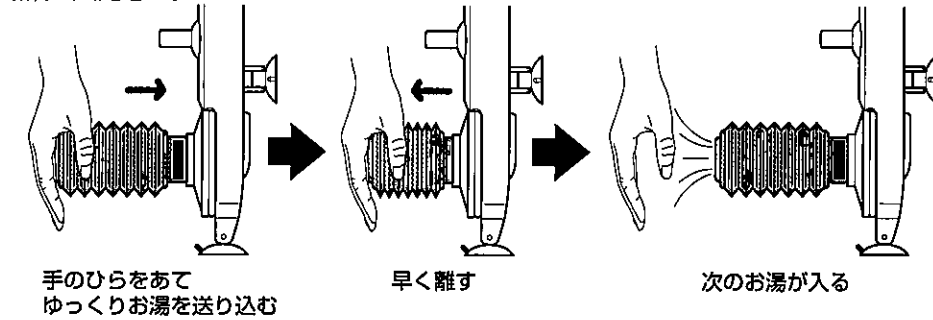
**6** 入水口アダプターに差し込んだ通水ポンプで本体にお湯を送り込んでください。

図のように通水ポンプの穴に手のひらを当て、十分に押しつけてお湯を送り込み、素早く手を離してください。ジェットノズルよりお湯が勢いよく流出するまでこの動作を繰り返してください。

※上記の操作をむかえ水(呼び水)といいます。

※むかえ水(呼び水)をしている最中に本体の温度表示部に「E3」の点滅表示が出た場合は、運転ボタンを押し、一度本体を停止させてから手順 5 に戻り、再度むかえ水(呼び水)を行なってください。

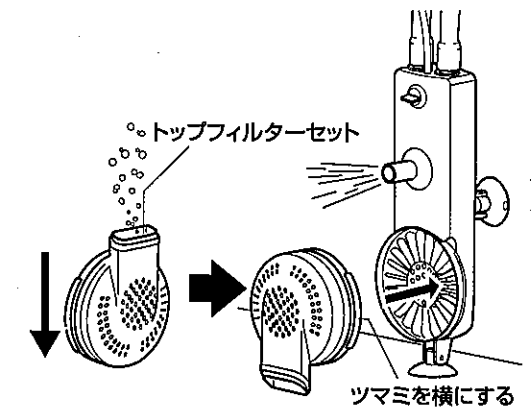
※むかえ水(呼び水)を数回繰返しても「E3」の点滅表示が出る場合は、設置工事説明書「10.3材のセット」(P.20)を参照してください。



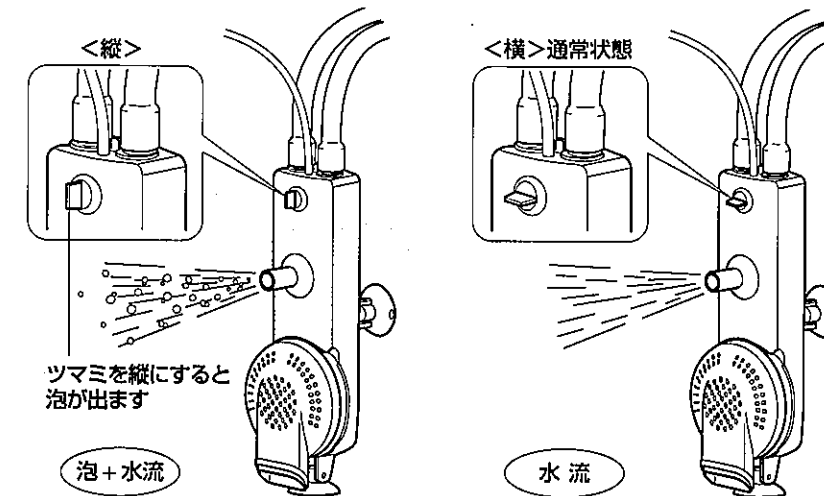
**7** ジェットノズルからお湯が勢いよく流れ出したら運転開始です。運転が始まったら入水口アダプターを外し、トップフィルターセットを泡出しユニットに取り付けてください。

### 警告

- ◆泡出しユニットのフィルターセットがゆるんだ状態や外れた状態及びトップフィルターを外したまま運転しない。



**8** 泡出しユニットの泡出しつまみを縦にすると、泡を出すことができます。



※ジェットノズルは左右に動かせます。

### お知らせ

- ◆ポンプ運転開始時にやや大きな音がすることがありますが、運転開始後音が止まれば異常ではありません。これは本体ポンプ内にお湯が完全に入っていないために起こる現象です。

## 停止方法

**1** 操作パネルの[運転ボタン]を押してください。運転ランプが消灯します。

**2** 漏電保護プラグを電源コンセントから抜きます。


### 警告

- ◆濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。
- ◆漏電保護プラグは電源コードを持って引き抜かない。感電・火災の原因になります。


※以上で本体の停止は終了ですが、長期間本体を停止する場合は、「長期間お使いにならないときには」(P.30)を参照の上、お手入れを行なってください。

## 温度調節のしかた

**1** 設定温度の上げ方

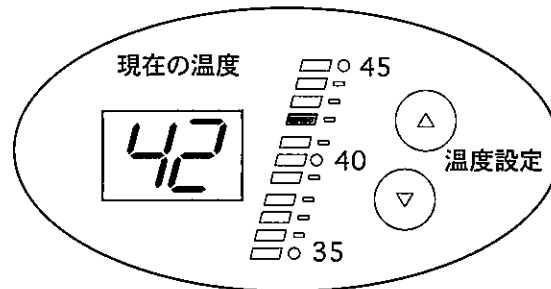
[温度設定ボタン]  を1回押します。  
ボタンを1回押すごとに1℃上がります。

**2** 設定温度の下げ方

[温度設定ボタン]  を1回押します。  
ボタンを1回押すごとに1℃下がります。

### お知らせ

- ◆本体に取り込んだ浴水の温度を湯温として表示しています。水を補給した場合など、一時的に表示温度が下がることがあります。また、ホースの長さおよび設置条件により、湯温と表示温度に若干の差が出る場合があります。



※左端の温度表示部には、現在の湯温が表示されます。

※設定できる温度は35～45℃です。(1℃毎)

## ◆イオン洗浄について

イオン洗浄とは、浴水および配管内部を衛生的に管理するため、毎日自動的に3時間浴水を電気分解して、消臭および除菌を行なう機能です。

**1** イオン洗浄の開始時刻

イオン洗浄の開始時刻は、本機を運転し始めた時刻に設定されます。但し、一回目のイオン洗浄は翌日(24時間後)に開始されます。設置後は、毎日その時刻にイオン洗浄を開始します。

### お知らせ

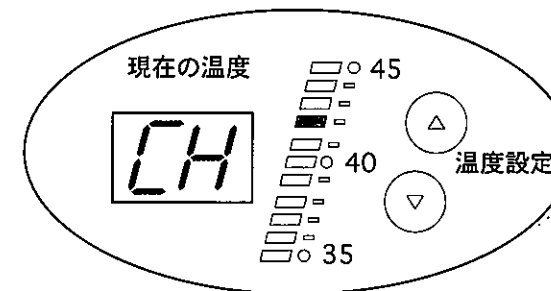
- ◆[イオン洗浄ボタン]を押すと、イオン洗浄開始までの残り時間が約10秒間表示されます。また、3秒間押し続けるとイオン洗浄が始まります。
- ◆イオン洗浄中は、浴水中に細かい気泡が出ますが、異常ではありません。また、人体に対しても安全です。
- ◆お手入れなどで本体を漏電保護プラグで停止させた場合、本体が停止した時間だけイオン洗浄の開始時刻が前回とずれますのでご注意ください。また、運転ボタンで本体を停止させた場合、停止中にイオン洗浄予定時刻を経過すると、運転再開後すぐにイオン洗浄が始まり、その時刻がイオン洗浄の開始時刻として設定されます。
- ◆強制熱洗浄(P.17参照)を行なった場合は、イオン洗浄の開始時刻が熱洗浄終了後の時刻に変更されますのでご注意ください。
- ◆入浴する4～5時間前にイオン洗浄を開始する設定が衛生的におすすめです。

**2** 開始時刻の変更

イオン洗浄の開始時刻を変更したい場合には、変更したい時刻に[イオン洗浄ボタン]を3秒間押し、強制的にイオン洗浄を行ないます。

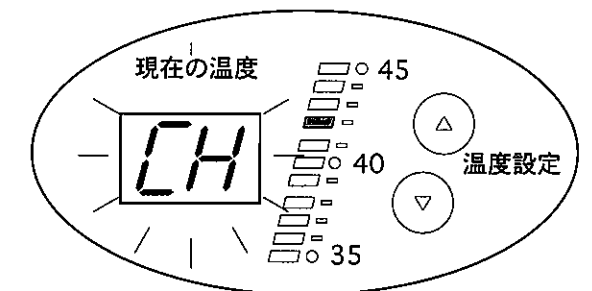
これにより、次回から強制洗浄した時刻にイオン洗浄が開始します。

※強制的なイオン洗浄を頻繁に行なうと、浄化を損なう恐れがあります。



[イオン洗浄時]

現在の湯温表示が「CH」になります。



[復帰直前]

現在の湯温表示が「CH」点滅になり、10分後に湯温が表示されます。

**3** イオン洗浄中のイオン洗浄停止方法

イオン洗浄中に、強制的にイオン洗浄を終了させたい場合は、[イオン洗浄ボタン]を押すと強制終了されます。



## 4 イオン洗浄の効果確認方法

イオン洗浄は、浴水中の塩素イオンを利用しているため、ある程度の塩素イオンが浴水中に存在しないとイオン洗浄を十分に行なうことができません。設置されている地域の水道水によっては、塩素イオンが少ない場合もありますので、運転開始後にイオン洗浄が適切に行なわれているかを、付属のイオン洗浄確認パックを用いて確認してください。

※イオン洗浄確認パックは、アルミ袋開封後、なるべく早く(2週間が目安です)ご使用ください。

### イオン洗浄確認パックによる確認方法

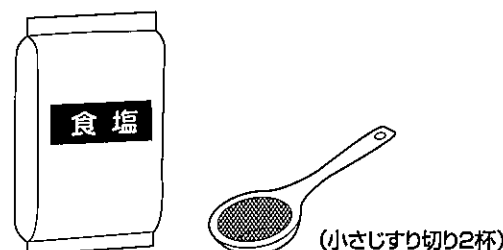
- (1) イオン洗浄が開始されてから約2時間経過した時点で、浴水をコップ半分くらいまで採水し、付属の使用法に従って確認してください。
- (2) 無色から薄いピンク色に変化しているか確認してください。色が変わればOKです。  
※10秒程度経過した時点で色を確認してください。  
※本製品に比色表等は付属されていません。
- (3) ピンク色に変化していない場合は、次の手順 5 に従って、食塩を投入してください。

## 5 食塩の投入方法

手順 4 で、ピンク色に変化しなかった場合は、以下の手順に従って、半月に1度食塩を浴水へ投入してください。  
※食塩は塩化ナトリウム99%以上のものを使用してください。

### 食塩の投入方法

- (1) 食塩と計量スプーンの小さじを用意してください。
- (2) 計量スプーンに食塩を取り、浴槽内へ投入してください。2杯目も同様に行なってください。  
※投入量は、すり切り2杯分(約7g)です。



### お知らせ

◆食塩の投入が必要な場合は、浴水交換時及び浴水交換2週間後に、必ず投入してください。

## ◆ 本体の熱洗浄について

熱洗浄とは本体内部のみを約60℃の高温にすることによって、浴水の浄化を衛生的に管理する機能です。(LB-271-HGは、同時にろ材に付着している汚れを落とします)

※熱洗浄は、約40分間行なわれます。その間は、浴水が循環されません。

### 1 熱洗浄の開始時刻

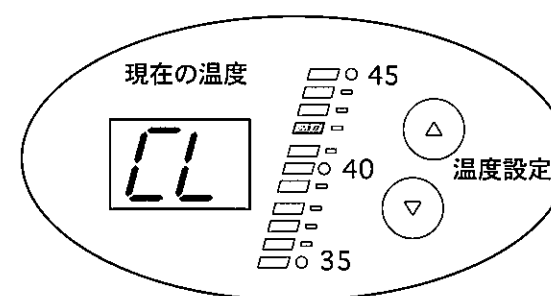
熱洗浄の開始時刻は、本機を運転し始めた時刻に設定されます。14日毎に、その時刻になると自動的に熱洗浄を開始します。(設置後最初の熱洗浄のみ、運転開始21日後に行なわれます)  
※熱洗浄時刻は、できるだけ入浴時間外に設定してください。

### 2 開始時刻の変更

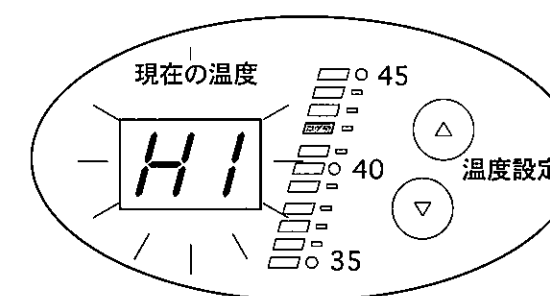
熱洗浄の開始時刻を変更したい場合(入浴時間を避けたい場合など)には、変更したい時刻に[熱洗浄ボタン]を3秒間押しして強制的に熱洗浄を行ないます。次回からは14日毎にこの時刻に熱洗浄が自動的に開始されます。  
※強制的な熱洗浄を頻繁に行なうと、浄化を損なう恐れがあります。

### お知らせ

- ◆お手入れなどで本体を漏電保護プラグで停止させた場合(P.29参照)、本体が停止した時間だけ熱洗浄の開始時刻が前回とずれますのでご注意ください。
- ◆強制的に熱洗浄を行なった場合は、イオン洗浄の開始時刻が熱洗浄終了後の時刻に変更されます。
- ◆[熱洗浄ボタン]を押すと、熱洗浄開始までの残日数が約10秒間表示されます。
- ◆熱洗浄の開始時刻にイオン洗浄が行なわれている場合、イオン洗浄終了後に熱洗浄が開始します。



【熱洗浄時】  
現在の湯温表示が「CL」になります。



【復帰時】  
現在の湯温表示が「HI」の点滅になり、ブザー音(1分間)とともに、浴水の循環が開始します。その後、湯温が表示されます。

### 3 熱洗浄中の熱洗浄停止方法

熱洗浄中に、強制的に熱洗浄を終了させたい場合は、[熱洗浄ボタン]を押すと強制終了します。

### お願い

- ◆熱洗浄が終了すると自動的に運転状態に復帰します。その際、少量の約60℃のお湯がジェットノズルより間欠的に出てきますのでご注意ください。
- ◆排水ホースが接続されていることを確認してください。熱洗浄時には、洗浄開始とともに排水ホースから約20ℓのお湯が排出されます。
- ◆熱洗浄はお湯を約20ℓ程度使用しますので、減った分だけ給湯または給水してください。

## ◆ ジェット運転のしかた

ジェット運転は、流量をノーマル運転の1.2倍程度に増し、勢いのあるジェット水流にします。

- 1 [ジェット運転ボタン]を押します。  
ジェット運転は5分間運転し、自動的に通常運転に戻ります。

- 2 ジェット運転中に[ジェット運転ボタン]を押すと通常運転に戻ります。

### お知らせ

◆本体は電源投入から24時間おきに、30秒間自動的にジェット運転を行ないます。これは、浄化促進のためで、故障ではありません。

## ◆ 保温機能停止について

- 1 保温の機能を停止したいとき  
操作パネルの[保温機能(入/切)ボタン]を3秒間押し続けます。

※このとき、「保温機能(入)ランプ」が消灯し、湯温が設定温度より低い場合でも、ヒーターによる加温を行ないません。

- 2 保温機能を入に戻すとき  
操作パネルの[保温機能(入/切)ボタン]をもう一度押しします。

※このとき、「保温機能(入)ランプ」が点灯し、湯温を設定温度に保つようにヒーターが入/切を繰り返します。

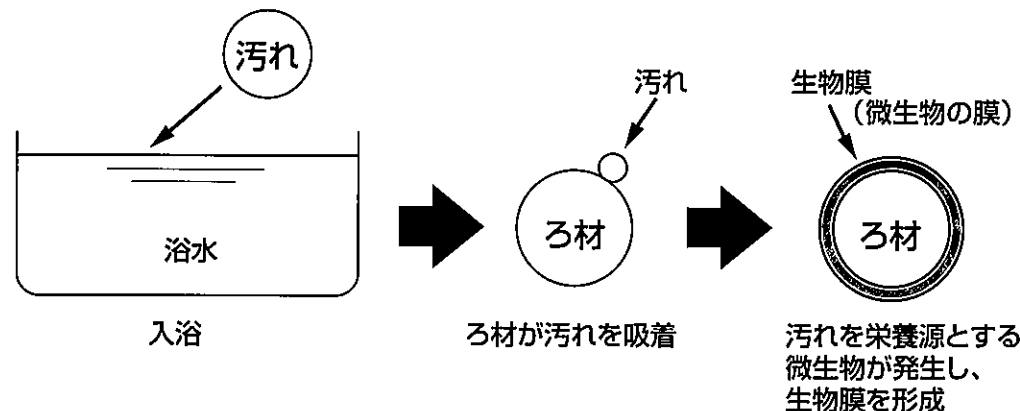
### お知らせ

◆[保温機能(入/切)ボタン]により、保温機能を停止させても、本体のポンプの運転は停止しませんので引き続き浴水の浄化は行なわれます。

## ◆ 浴水の浄化について

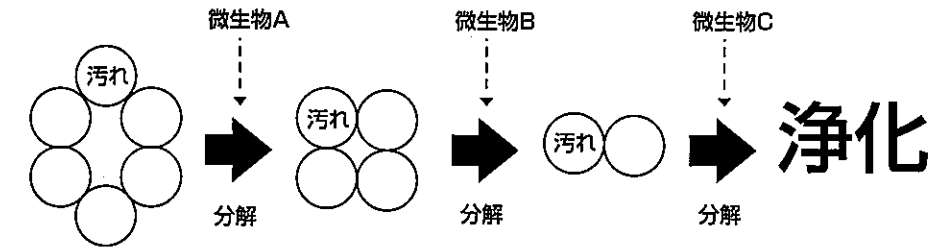
浴水中の汚れは、ろ材のまわりに生成された微生物の膜によって浄化されます。そのため、ろ材のまわりに有効な微生物の膜が形成される間は、浄化がうまく行なわれていないことがあります。通常この膜が形成されるまで1~2週間かかりますので、浴水が濁ったり臭いがある場合は浴水を交換してください。(P.30参照)

### 浄化されるまで



## 生物膜の中では

生物膜の中では、何種類もの微生物がそれぞれ自分の分担の汚れを分解して最終的に汚れが分解されます。



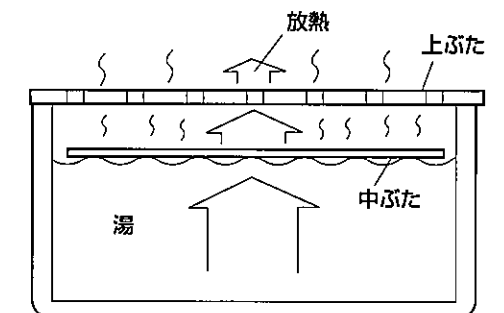
## 生物膜を早く形成させるには

どうする?	どうして?
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆汚れを落としてから入浴する。</li> <li>◆浴槽の中で、体をこすったりして浴水を汚さない。</li> <li>◆濁った場合は浴水を交換する。</li> </ul>	<p>汚れが多過ぎるとある特定の微生物が多くなったり、環境が悪くなったりして、必要な微生物がなかなか生育できません。汚れを少なくするため、最初のうちは、濁ったり、臭いがある場合は浴水を交換してください。(P.30参照)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆最初の14日間は濁ってもろ材を洗わない。</li> <li>◆強制的に熱洗浄、イオン洗浄しない。</li> </ul>	<p>ろ材のまわりに少しずつ生物膜が形成されていきます。ろ材を洗うとせっかく形成されてきた生物膜がはがれてしまいます。濁ったり、臭いがある場合は、浴水の交換をしてください。(P.30参照)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆入浴時以外でも泡出しユニットのジェットノズルから泡を出す。</li> </ul>	<p>浴水の浄化に活躍している微生物には、酸素が必要です。そのため、とくに最初は泡を出し、浴水中に少しでも多くの酸素を送り込むことで微生物の成育を促します。</p>

## ◆ 経済的なご使用方法

次の項目を実施すると、電気料金の節約になります。

- ◆浴槽の湯面の中ぶたを浮かし、その上に上ぶたをすると湯面からの放熱を減らすことができます。
- ◆風呂釜を併用されている場合、逆流防止弁(別売品)を取り付けると風呂釜からの放熱を減らすことができます。
- ◆浴水を入れる時や足し湯をする時は、お湯を入れてください。ヒーターの通电時間を短くし、電気代が節約できます。
- ◆ジェットノズルより泡を出すとお湯が冷えやすいため、必要ない時(浄化が良い状態で行なわれており誰も入浴していない時)は泡を止めておいてください。ヒーターの通电時間を短くし、電気代が節約できます。



# 5 お手入れ

## ◆ 日常のお手入れ

### ⚠ 注意

◆下記の「日常のお手入れ」に従って、正しくお手入れを行なう。  
細菌が異常に増える恐れがあります。

お手入れの種類	お手入れの頻度	参照ページ	
トップフィルターの洗浄	毎日	21ページ	
トップフィルターの交換	6カ月または破損時	21ページ	
ヌメリの除去	毎日	22ページ	
イオン洗浄	毎日(自動)	15ページ	
本体の熱洗浄	14日に1回(初回は、設置後21日目)(自動)	17ページ	
食塩の投入	浴水交換時と浴水交換2週間後 (イオン洗浄確認パックで着色しない場合)	16ページ	
ろ材の手洗浄	LB-271 (ろ材自動洗浄なし)	1カ月に1回	22ページ
	LB-271-HG (ろ材自動洗浄あり)	3カ月に1回、本体、泡出しユニット、ホースの洗浄と合わせて行なってください。	
本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄	3カ月に1回	26ページ	
風呂釜の洗浄 (風呂釜をお使いの場合)	3カ月に1回、本体、泡出しユニット、ホースの洗浄と合わせて行なってください。	28ページ	
紫外線ランプの交換	1年に1回	28ページ	
漏電保護プラグの点検	1カ月に1回	29ページ	
浴水の交換	1カ月に1回以上。また温度表示部に[C]が表示された場合や、浴水が濁ったり、臭いが発生した場合は、浴水を交換してください。	30ページ	
長期間お使いにならないときは		30ページ	

※ただし、毎日の入浴回数・人数や汚れの量などにより、それぞれのお手入れの頻度が短くなる場合があります。

### [有料メンテナンスサービス]

※上記の日常のお手入れを行なうことができない場合は、保証期間内でも有料で承りますので販売店にご相談ください。

### お願い

◆本体内に汚れが付着し水流が弱くなったまま使い続けると、故障の原因になりますので必ず定期的に洗浄などのお手入れをしてください。

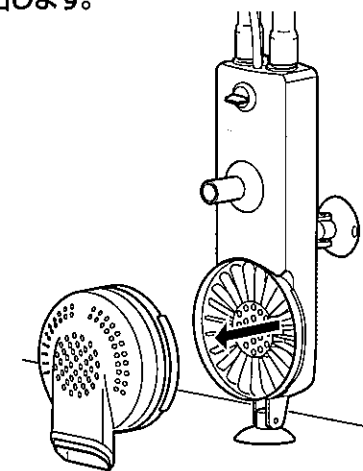
以下のような状態になったときは、トップフィルターが原因と考えられます。  
次のお手入れ方法に従って正しくお手入れをしてください。

- ◆ジェットノズルからの気泡の噴出が弱まった場合
- ◆ポンプが自然に停止する場合(E3表示)
- ◆本体から大きな音がる場合
- ◆浴水の濁りや臭いが進行した場合
- ◆温度が上がらない場合

## ◆ トップフィルターの洗浄および交換

泡出しユニットのトップフィルターは、1日に1回以上(入浴時などに)洗浄してください。トップフィルターは6カ月ごとに、または、破損時に交換してください。

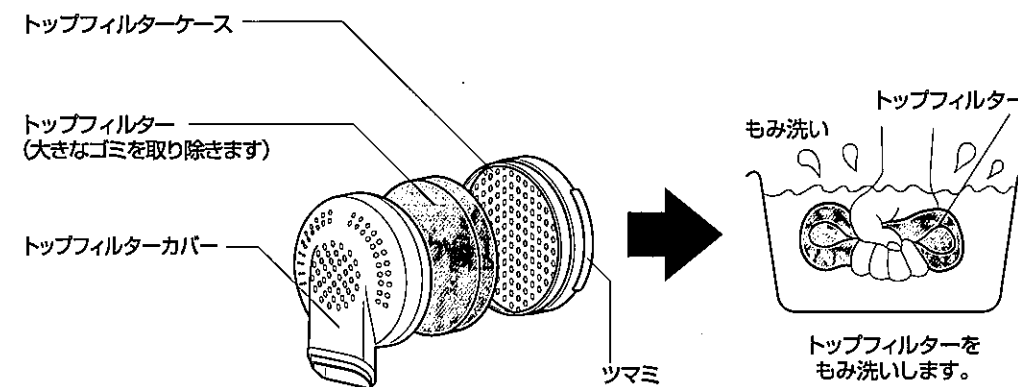
**1** トップフィルターセットを少し回転させながら取り外し、浴槽外へ出します。



### お願い

◆浴水中に大きなゴミなどがないことを確認してください。トップフィルターがない状態で大きなゴミを吸うと故障の原因になります。

**2** トップフィルターセットからトップフィルターを取り出し、洗面器などにお湯を入れもみ洗います。



**3** トップフィルターを逆の手順で泡出しユニット本体に取り付けます。  
※トップフィルターケースのツマミは横にして取り付けてください。(P.13参照)

## ◆ヌメリの除去

浴槽内面に付着したヌメリや汚れは、1日1回以上付属のスポンジなどで拭いてください。  
浴水中に落ちた汚れはトップフィルターなどで除去されます。

## ◆ろ材の手洗浄

### 洗浄方法

**1** 操作パネルの[運転ボタン]を押して、運転を停止してください。

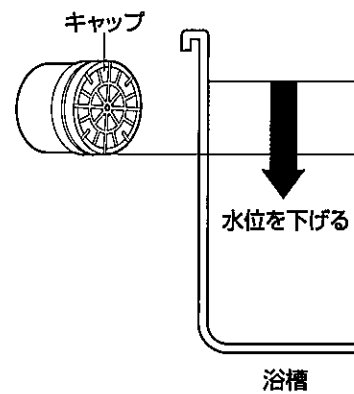
**2** 浴水面が泡出しユニットの入水口またはキャップの位置より低くなるまで、浴水を抜いてください。

#### お知らせ

◆浴水面をキャップの位置より低くなるまで下げてからキャップを外してください。キャップの位置が浴槽の水面より低い場合は、浴水があふれ出し、故障の原因になります。

#### お願い

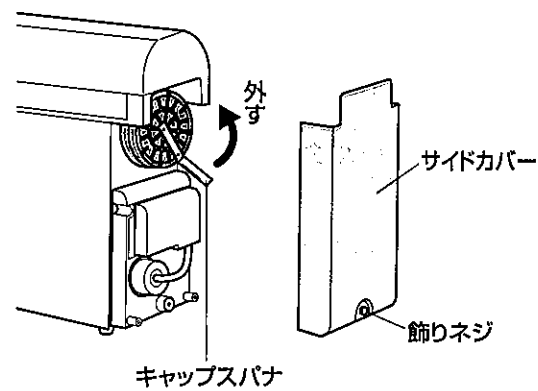
◆ろ材の手洗浄は風呂場などで行なってください。  
ろ材に付着したヌメリなどで周囲が汚れます。



**3** 飾りネジを外しサイドカバーを外して、付属のキャップスパナでキャップを左に回して外してください。

#### ⚠ 注意

◆キャップスパナをすべらせてケガをしないように注意する。

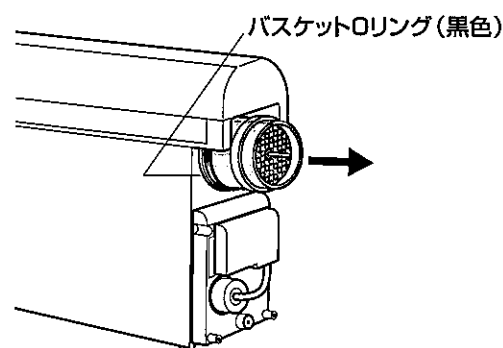


**4** バスケットに手を添えて本体から取り出してください。

※この時、本体に残っている水がバスケットを取り出すと同時に出てきますのでご注意ください。  
※バスケットリングが切れて外れた場合は、販売店またはお客様サービスセンター(P.36参照)へご注文ください。

#### ⚠ 注意

◆バスケット周囲はヌメリがありすべりやすく、重たいので、落としてケガをしないように注意する。

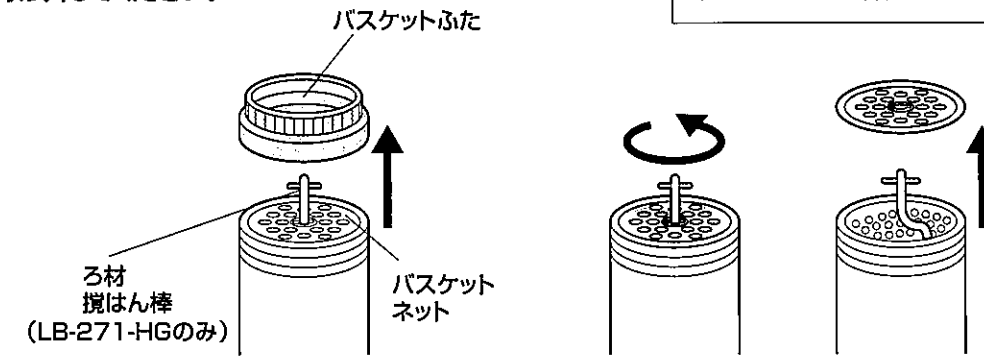


**5** 取り出したバスケットの周囲のヌメリをスポンジで洗い落とし、バスケットふたを回して取り外します。

**6** バスケットネット中央部の切りかきと、ろ材攪はん棒(LB-271-HGのみ)の向きを合わせ、バスケットネットを取り外してください。

#### ⚠ 注意

◆バスケットなど部品のエッジでケガをしない。

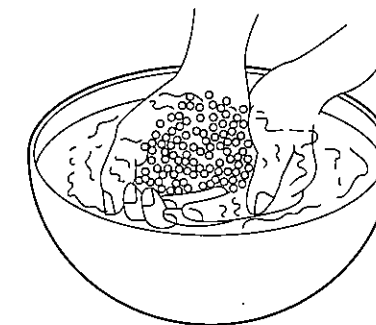


**7** バスケットからろ材を取り出し、別の容器に入れてください。

#### お願い

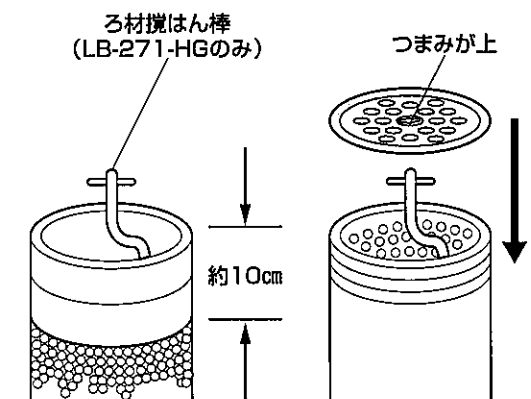
◆この時、ろ材攪はん棒はバスケットの底に固定されていて抜けませんので、無理に引き抜かないでください。(LB-271-HGのみ)

**8** ろ材を残り湯などのぬるま湯を用い、手で軽く2~3回洗ってください。



**9** 洗い終わったらろ材をバスケットの上部から10cm位のところまで入れます。

この時、ろ材攪はん棒が中央にくるようにバスケットを上下に振動させたりして少しずつろ材を入れてください。



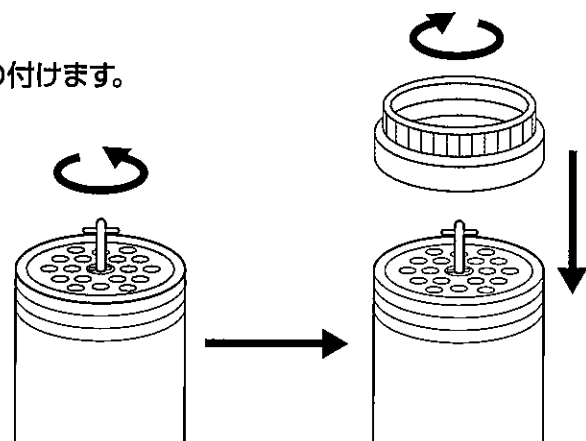
**10** バasketネットの中央部の切りかきと、ろ材攪はん棒(LB-271-HG)の向きを合わせて取り付けます。

**お願い**

◆Basketネットの中央のつまみが上にあるように取り付けてください。

**11** Basketネットを1/4回転し、Basketから取れないようにしてください。

**12** 最後に、Basketふたを取り付けます。



**13** Basketの上からぬるま湯を注いでください。ろ材に付着している余分な汚れをすすぎます。

**注意**

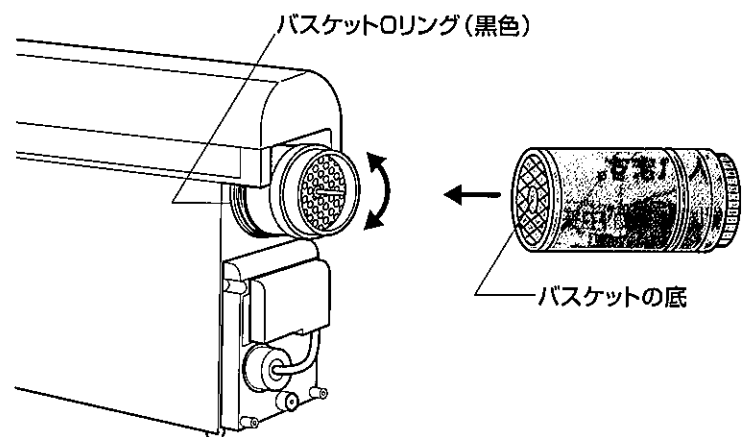
◆Basketネットの上からお湯を注ぐと、Basketの底部からお湯が出るので注意する。

**14** BasketをBasketの底から本体に挿入します。Basketを奥までセットしたところで少し回転させます。本体のBasket挿入口からBasketが出ないようにします。奥まで入っていないとキャップが締まらず、水漏れの原因になります。

**お知らせ**

◆Basketリングが外れていると本体へ水が侵入し、故障の原因となります。(P.8参照)

※Basketリングが、きちんとセットされていることを確認してください。Basketリングが切れて外れた場合は、販売店またはお客様サービスセンター(P.36参照)へご注文ください。

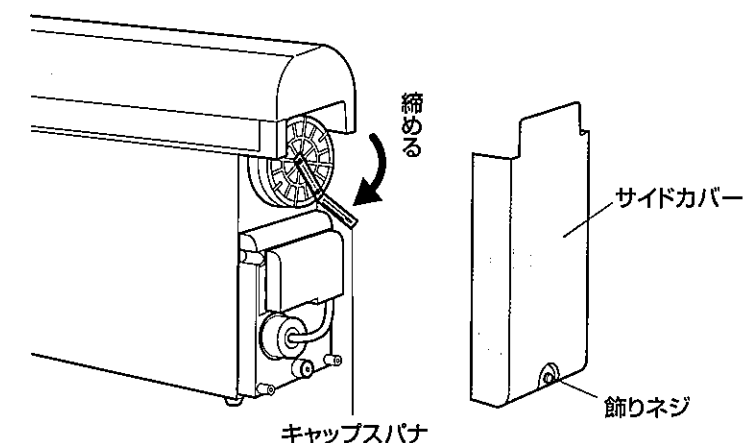


**15** キャップを締めてください。キャップをいったん左へゆっくり回し、キャップが平行になったところで右へ回して締め付け、最後にキャップスパナでしっかり締め付けてください。

※キャップ裏面のキャップリング(半透明)がきちんとセットされていることを確認してください。(P.32参照)

**お知らせ**

◆キャップが斜めになっているなど正確に締まっていないと水漏れし、故障の原因になります。(P.32参照)



**16** サイドカバーを元どおり取り付け、飾りネジを締めてください。

**17** 泡出しユニットのジェットノズルの上までお湯(水)を追加してください。

**18** 操作パネルの[運転ボタン]を押して、浴槽内のお湯を循環させて運転開始してください。  
※運転を再開しても、ジェットノズルからお湯が継続して流出しないときは、むかえ水(呼び水)(P.12~13参照)を行ってから運転してください。

## ◆ 本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄

### ◆ あらかじめ準備するもの

#### ◆ 24時間風呂専用洗浄剤

24時間風呂専用洗浄剤は、販売店またはお客様サービスセンター(P.36参照)へご注文ください。ご使用の際は洗浄剤の注意書をよく読んでご使用ください。

#### ◆ ホース

ホースは設置工事の際に残ったもの(1m程度)を使います。ホースがない場合は、内径18mmの市販のホースをお買い求めください。

### ⚠ 注意

◆ 中性または弱アルカリ性以外の洗浄剤は使わない。本体やバランス釜などの故障、浴槽の変色・ヒビの原因になります。

### お知らせ

◆ 本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄中にイオン洗浄が開始されると、温度表示部に「CC」が表示されます。その場合は「イオン洗浄ボタン」を押してイオン洗浄を中止してください。

### ⚠ 注意

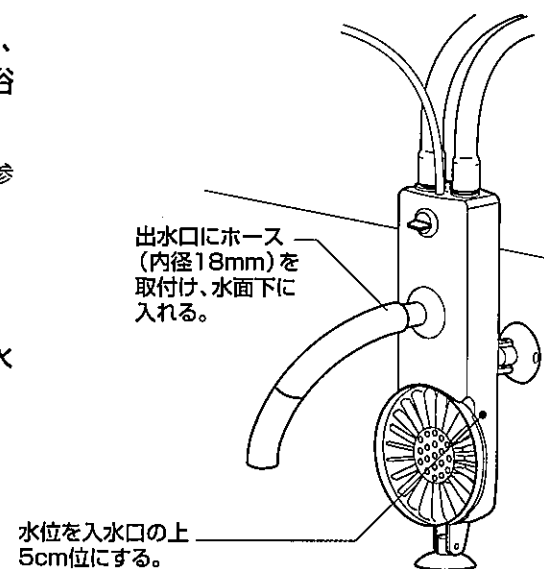
◆ バasket周囲はヌメリがありすべりやすく、重たいので、落としてケガをしないように注意する。

**1** 操作パネルの「運転ボタン」を押し、運転を停止させ、ろ材の入ったバスケットを抜いてください。(P.22参照)

**2** バasketを取り出したまま、元どおりキャップを締め、操作パネルの「運転ボタン」を押し、運転を開始し、浴水が循環することを確認します。(P.25参照)

※ポンプが停止する場合はむかえ水(呼び水)(P.12~13参照)を行なってください。

**3** 運転しながら、浴槽の湯を右図のように、水位が入水口の5cmくらい上になるまで抜きます。(トップフィルターセットの上部まで)出水口にホース(切り残し)を差し込み、浴水の水面下に入れます。



**4** 浴水中に、大きなゴミなどがいないことを確認し、トップフィルターセットを取り外してください。大きなゴミなどがある場合は必ず取り除いてください。

**5** 24時間風呂専用洗浄剤約250gを洗面器等に入れて、お湯でよくかきまぜてから浴槽内に入れてください。

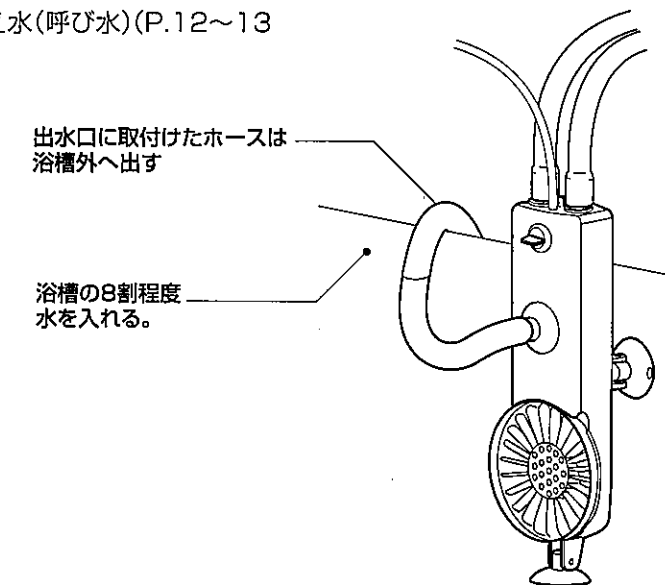
**6** 8時間以上運転します。長時間運転するほど汚れがよく落ちます。できれば一晩運転してください。

**7** 運転後、ホース内の汚れが出て水が濁ります。ここで操作パネルの「運転ボタン」を押して運転を停止させ、浴槽の水を抜きます。

**8** 本体のキャップを外します。(P.22参照)キャップの裏面をよく水洗いしてください。また、泡出しユニットの裏面も付属のスポンジや洗浄ブラシで汚れを落とし、シャワーなどで洗い流してください。

**9** キャップを取り付け、浴槽に8割程度水を新たに入れて、出水口のホースを浴槽外に出します。操作パネルの「運転ボタン」を押して運転を開始してください。

※ポンプが停止する場合はむかえ水(呼び水)(P.12~13参照)を行なってください。



**10** 出水口のホースを取り外し、泡出しユニット、浴槽を十分にすすぎ洗います。

**11** すすぎ洗い終了後、Basketをセットして(P.25参照)浴槽に給湯し、操作パネルの「運転ボタン」を押して運転を開始してください。

※ポンプが停止する場合はむかえ水(呼び水)(P.12~13参照)を行なってください。

## ◆風呂釜の洗浄

風呂釜(バランス釜やガス釜など)は、3カ月に1回程度、市販の風呂釜洗浄剤などで内部を洗浄してください。

※洗浄が不十分な場合、細菌が異常に増えたり、使用中に浴水が濁ったり、異臭が発生することがあります。

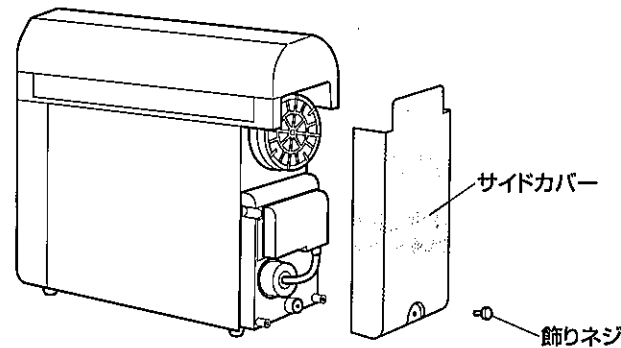
## ◆紫外線ランプの交換

紫外線ランプの寿命はおよそ1年です。

寿命がきた場合、紫外線ランプ交換ランプが点滅します。次の手順で紫外線ランプを交換してください。

**1** 操作パネルの[運転ボタン]を押し、運転を停止させてください。

**2** 飾りネジを外し、サイドカバーを外してください。



**3** 紫外線殺菌灯のコネクターを外します。コネクターは、上部のつまみを押さえて左右に動かしながら引っ張ると外れます。

**4** ランプキャップを手前に引き出して取り外します。

**5** 右図のように紫外線ランプを引き抜き、取り出します。

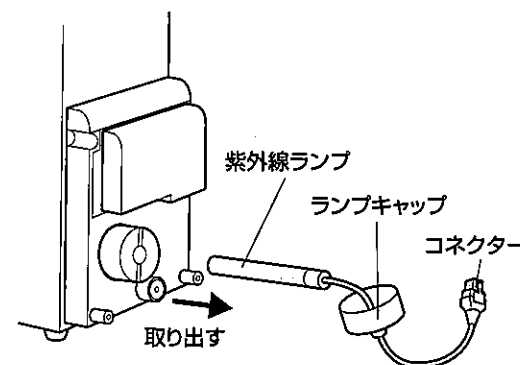
**6** 新しい紫外線ランプを差し込みます。

**7** ランプキャップをかぶせます。

**8** コネクターを接続します。コネクターは一つの方向しか接続できない構造となっています。

**注意**

- ◆コネクターを外すときは、ケガをしないように気をつける。
- ◆紫外線ランプは、ガラス製なので、割ってケガをしない。
- ◆紫外線ランプの光は、目を痛める恐れがあるので、直接見ない。



**9** サイドカバーを取り付け、飾りネジで固定してください。

**10** 操作パネルの[運転ボタン]を押し、本体を運転させてください。(P.10参照)

**11** 操作パネルの[紫外線ランプ交換終了ボタン]を押します。紫外線ランプの積算時間がリセットされ、紫外線ランプ交換ランプが消灯します。

**お知らせ**

◆紫外線ランプ交換ランプが点滅する前に紫外線ランプを交換した場合、[紫外線ランプ交換終了ボタン]を3秒以上押ししてください。紫外線ランプの積算時間がリセットされます。

## ◆漏電保護プラグの点検方法

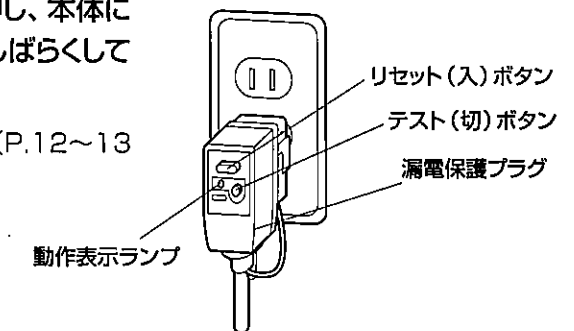
月に一度は、漏電保護プラグが正常に作動することを確認してください。

**1** 漏電保護プラグを電源コンセントに差し込んだまま、漏電保護プラグのテスト(切)ボタンを押してください。

**2** 動作表示ランプが点灯すれば正常です。  
※動作表示ランプが点灯しない場合は、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、お客様サービスセンター(P.36参照)へご連絡ください。

**3** 漏電保護プラグのリセット(入)ボタンを押し、本体に通電させます。動作表示ランプが消え、しばらくして運転が開始されます。

※ポンプが停止する場合はむかえ水(呼び水)(P.12~13参照)を行なってください。



## ◆ 浴槽のお湯を入れ替えるときには

1カ月に1回以上、または、温度表示部に [E] が表示された場合、浴水が濁ったり、臭いが発生した場合など、日常のお手入れの際にお湯を入れ替える場合は次の手順で行なってください。

- 1 操作パネルの[運転ボタン]を押して、本体を停止させてください。
- 2 浴槽のお湯を抜いてください。
- 3 浴槽、泡出しユニットの汚れを、付属のスポンジや洗浄ブラシで落とし、シャワーなどで汚れを洗い流してください。
- 4 泡出しユニットのジェットノズルが十分にお湯につかるまで、浴槽に新しいお湯を入れてください。
- 5 操作パネルの[運転ボタン]を押すと、浴槽内のお湯が循環を始め運転開始となります。  
※運転を再開させても、ジェットノズルからお湯が継続して流出しないときは、むかえ水(呼び水)(P.12~13参照)を行ってから運転してください。

## ◆ 長期間お使いにならないときには

- 1 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 2 ろ材は、「ろ材の手洗浄」(P.22参照)に従って洗浄します。その後、天日で乾燥させ保存します。
- 3 本体内部は、「本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄」(P.26参照)に従って洗浄します。すすぎの終わった後、本体から水を抜きます。キャップは本体内部が乾くまで、開けておいてください。
- 4 トップフィルターは「トップフィルターの洗浄および交換」(P.21参照)に従って洗浄し、日陰で乾燥させ保管します。

※再び使用される際は、「バスケットのセットのしかた」(P.22参照)、「運転および停止方法」(P.12参照)に従って運転させてください。

### ⚠ 注意

- ◆ 長期間本体を使用しない場合は、浴室から本機を取り外してください。  
長期間、本体を停止させたままで湿気の多い場所に放置すると、再運転の際の感電・火災の原因になります。

## 6 異常や故障と思われるとき

### ◆ 浴水が濁ったり、臭いがあるとき

設置当初、浄化微生物がろ材に付着するまで1~2週間かかります。その間、浴水の浄化がうまく行なわれませんので、濁ったり、臭いがある場合は浴水を交換してください。(P.20、30参照)

#### 点検1 設置時風呂釜の洗浄をしましたか?

配管内部の汚れが浴水中に出てくる場合がありますので、一度浴槽の水を捨てて、風呂釜内部をよく洗浄してから再度運転してください。

#### 点検2 トップフィルターを毎日洗っていますか?

トップフィルターの目づまりにより浄化能力が落ちる場合がありますので、トップフィルターは毎日洗ってください。

#### 点検3 何日間使用しましたか?

設置またはろ材の洗浄をした後、浴水が濁っているようでしたら、濁った都度浴水を捨てて、新しいお湯と入れ替えて様子を見てください。(P.30参照)2~3週間経過後でも、きれいにならないようでしたら、販売店またはお客様サービスセンター(P.36参照)にご相談ください。

#### 点検4 追い焚き等での沸かしすぎはありませんか?

50℃以上のお湯が頻繁に本体の内部に入ると、ろ材に付着した微生物が不活発になります。その場合、浴水が濁ることがありますので、浴水が濁りましたら、元の状態に戻るまで浴水の交換を何回か行なってください。

#### 点検5 1日にたくさんの方が入浴しませんでしたか?

例えば、毎日使用されている人数より、多くの方が入浴した場合、普段より浄化に時間がかかることがあります。

#### 点検6 熱洗浄やイオン洗浄を頻繁に行なっていませんか?

必要以上に熱洗浄やイオン洗浄を行なうと浄化に影響をおよぼす可能性があります。その場合は、販売店にご相談ください。

#### 点検7 長期間ろ材などを洗浄せずに使用していませんか?

浴水がきれいな状態で数カ月使用した後、浴水が濁ってきた場合には、

- ◆ トップフィルターの洗浄および交換(P.21参照)
- ◆ ろ材の手洗浄(P.22参照)
- ◆ 本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄(P.26参照)に従って、洗浄してから再度取り付けて、運転してみてください。  
※ポンプが停止する場合はむかえ水(呼び水)(P.12~13参照)を行なってください。

※以上の点検でも浴水がきれいにならない場合には、販売店またはお客様サービスセンター(P.36参照)にご相談ください。なお、洗浄メンテナンスは保証期間内でも有料で承ります。

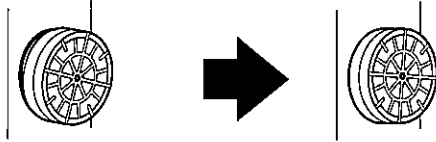


## ◆故障かなと思ったとき

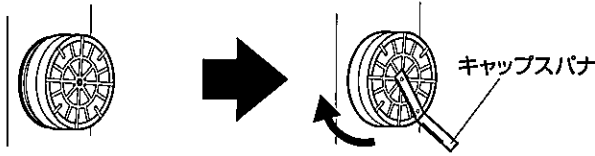
### Q1. 水もれする

キャップの締め方が悪いと、本体の底から水もれすることがあります。次のような原因が考えられますので、ご確認ください。

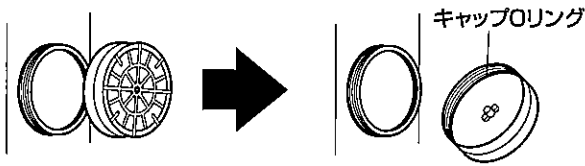
(1)キャップが斜めに入っている場合



(2)キャップの締め付けが不足している場合



(3)キャップ裏面のキャップリングがきちんとセットされていない場合



### Q2. 温度が上がらない

(1)浴槽および浴水表面からの放熱が大きい。



きちんと浴槽のふたをしてください。また、放熱しやすいお風呂(例.タイル風呂、大きな浴槽など)については断熱をきちんと行なってください。また、中ふたを使用するのも、有効な手段です。(P.19参照)。

(2)循環流量が低下している。



循環流量が低下すると保温効率が低下します。トップフィルター、ろ材、本体、ホースを洗浄してください。

### Q3. 設定温度より表示温度が高い

(1)設定温度より表示温度が1℃高い。



本体の温度コントロールは、設定温度より湯温が1℃低くなるとヒーターが入り、1℃高くなるとヒーターが切れるようになっています。1℃高い場合は、とくに故障ではありません。

(2)設定温度より表示温度が2℃以上高い。



本体のポンプは、省エネのためポンプから発生した熱が、浴水に伝わるような構造となっております。そのため、夏場などで、保温性能の良いお風呂では、まれにポンプの熱により、湯温が設定温度より高くなる場合があります。

### Q4. 表示温度と実際の温度が違う



温度の測定を本体内部で行なっているため、配管の状況等により、実際の湯温と差が出る場合があります。

### Q5. 家庭の電流ブレーカーが頻繁に落ちる



本体の電源容量はAC100V 9Aです。ブレーカーが頻繁に落ちる場合は容量オーバーです。お近くの電力会社にご連絡ください。

### Q6. 突然、水流が強くなり、30秒たつと水流がまた元に戻る



浄化促進のため、電源投入時(運転開始時)より24時間おきに30秒だけジェット運転を行なうよう設定されており故障ではありません。

### Q7. 浴槽の一部が茶色く変色した



水道水に含まれる鉄分により浴槽の一部が茶色く変色する場合があります。浴槽メーカーへお問合せください。

### Q8. チェーンなどのメッキがはがれた、サビた



浴槽内の金属部については、サビる場合があります。なるべくステンレス製の部品をご使用ください。

### Q9. 温度表示部が [E0] の表示で点滅する

(1) [E0] と現在湯温とが交互に表示されながら運転している時。

本体内部に設置されている水流センサーに汚れなどがついて作動しなくなっている。



[運転ボタン]を押して、運転を停止させ、3秒後に再度[運転ボタン]を押して運転を再開してください。(これを2回繰り返す)ポンプの水流によって汚れがとれることがあります。これにより、湯温表示に戻れば問題ありません。それでも、点滅が継続するようであれば、販売店またはお客様サービスセンター(P.36参照)にご連絡ください。

(2) [E0]のみが点滅し、運転が停止している時。



本体内部が熱くなっていますので、[運転ボタン]を押して、運転を停止させ、しばらく放置してください。その後、ヒーターに付着している汚れを除去するため、本体内の洗浄を行なってください。(P.26参照)それでも点滅が継続するようであれば、販売店またはお客様サービスセンター(P.36参照)にご連絡ください。

### Q10. 温度表示部が [Ad] の表示で点滅する



水質によりイオン洗浄時に所定の電流が流れていない場合 [Ad] と表示されます。[Ad]表示が点滅した場合は、食塩を浴槽に投入してください。(P.16参照)それでも点滅が継続するようであれば、電極の寿命などが考えられますので、販売店またはお客様サービスセンター(P.36参照)にご連絡ください。

## ◆ お手入れ表示と処置方法

温度表示部にお手入れ表示が出たときは、下記の処置を行なってください。処置後、なおお手入れ表示が出る場合は、漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

表示例	原因	処置方法	頁
CC ※	浴水の電導度の上昇	[運転ボタン]を押して運転を停止させ、浴水を入れ替えた後、再度[運転ボタン]を押し運転を再開してください。	
	本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄中のイオン洗浄	[運転ボタン]を押して運転を停止させ、再度[運転ボタン]を押し運転を再開してください。	
Ad ※	塩素イオンの不足	食塩を浴槽へ投入してください。3時間経過しても表示が消えない場合は、[運転ボタン]を押して運転を停止させ、再度[運転ボタン]を押し運転を再開してください。	33
E4	ろ材、本体、ホースへの汚れの付着	ろ材、本体、ホースなどの洗浄を行なってください。	22,26

※「CC」および「Ad」は温度と交互に表示される場合があります。

## ◆ 異常表示と処置方法

温度表示部に異常表示が出たときは、下記の処置を行なってください。処置後、なお異常表示が出る場合は、漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

表示例	原因	処置方法	頁
E0	本体、ホースの目づまり	本体、泡出しユニット、ホースなどの洗浄を行なってください。	26,33
E1	水温センサーの故障	[運転ボタン]を押して運転を停止させ、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、販売店にご連絡ください。	
E2	追い焚き、その他による浴水の温度上昇(水温センサー[47℃]の作動)	浴水の温度を設定温度付近まで下げ、[運転ボタン]を押して本体を停止させ、しばらくして再度押ししてください。	
E3	むかえ水不足 本体内空気吸入	再度むかえ水を行なってください。 (むかえ水を長めに行なってください)	12,13
	トップフィルターの目づまり	トップフィルターの洗浄を行ない、[運転ボタン]を押して運転を再開してください。	21
	ろ材、本体、ホースの目づまり	ろ材、本体、ホースなどの洗浄を行なってください。	22,26
E5	ろ材の目づまり	ろ材を手洗浄してください。	22
	バスケットのセットの不良	バスケットをセットし直してください。	24
E6	浴水の温度上昇(過昇保護[53℃]で作動)		
E7	切換弁の故障	[運転ボタン]を押して運転を停止させ、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、販売店にご連絡ください。	
E8	コントロールボックスの故障		
E9	熱洗浄時の異常		
表示なし	運転ボタンが押されていない	[運転ボタン]を押してください。運転ランプが点灯します。	
	電源コンセントから漏電保護プラグの抜け	漏電保護プラグを電源コンセントに差し込んでください。	
	家庭用の配電盤のブレーカーの作動	他の機器との併用をやめ、ブレーカーを復帰させてください。	
	傾斜センサーの作動 (漏電保護プラグの動作表示ランプが点灯)	本体の傾きを修正して漏電保護プラグの[リセットボタン]を押してください。運転が継続すれば問題ありません。 (注:運転が継続しない場合は本体より漏電している恐れがありますので、販売店へご連絡ください)	

## 7 仕様

型式	LB-271	LB-271-HG	
本体設置場所	浴室内		
本体外形寸法	高さ533×幅500×奥行175mm		
本体質量	約18kg(ろ材を含む)		
定格電圧	AC100V		
定格周波数	50/60Hz		
定格消費電力	100W		
ヒーター消費電力	750W		
最大消費電力	850W		
制菌システム	紫外線式(6W)		
	高温加熱式		
	イオン式		
浄化システム	生物浄化		
ろ材の洗浄方法	手洗浄	熱洗浄時自動洗浄	
水質 ※当社規定条件にて	濁度	2度以下	
	過マンガン酸カリウム消費量	25ppm以下	
	大腸菌群	1個未満/ml(不検出)	
	レジオネラ属菌	10CFU未満/100ml(不検出)	
対応のべ入浴人数	7人以下/日		
対応浴槽容量	400リットル浴槽(湯量320リットル)まで		
お手入れの方法	取扱説明書P.20参照		
消耗品	トップフィルター	6カ月または破損時に交換	
	紫外線ランプ	1年に1回交換	
温度表示	デジタル表示		
温度調節範囲	35~45℃(設定1℃毎)、OFF		
循環水量調節	2段階切替方式(ノーマル、ジェット)		
安全装置	◆ポンプ空運転防止装置(水流センサー)		
	◆浴水温度過昇防止装置(過昇保護センサー)		
表示なし	◆温度制御装置(水温センサー)の断線検知		
	◆転倒時電流遮断装置(傾斜センサー)		
	◆過電流保護装置(管ヒューズ15A)		
	◆温度ヒューズ(130℃)		
	◆漏電保護装置(漏電保護プラグ、感度電流6mA)		
	-		
	◆自動洗浄ロック検知		
操作パネルコード	2m		
電源コード	7m		

※当社規定条件とは、取扱説明書にしたがったお手入れを行なった上で、最終入浴者入浴後8時間以上経過後のイオン洗浄3時間終了直後に浴槽水を測定することです。

